

第 20 回関西感染予防ネットワーク例会 プログラム

拝啓

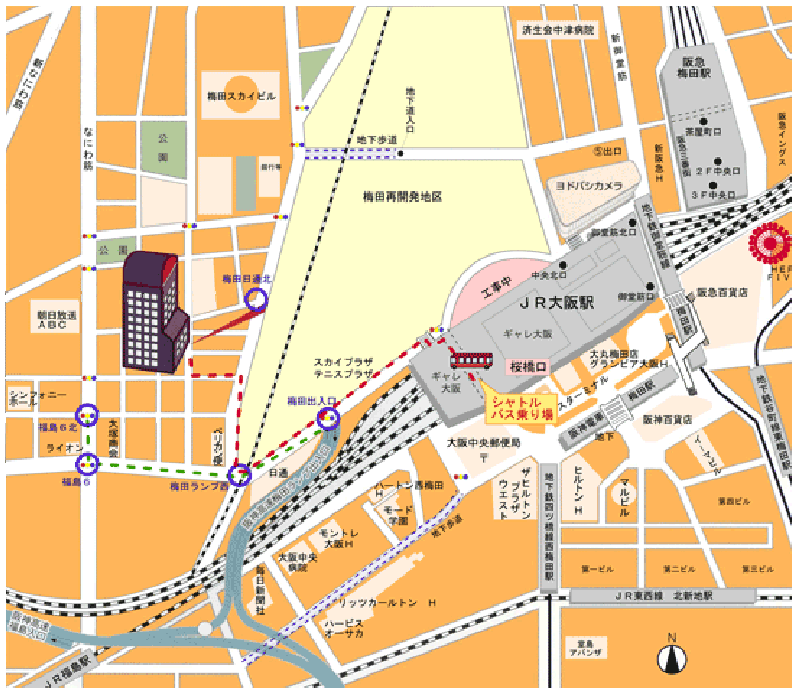
関西感染予防ネットワーク例会も 20 回目をむかえることになりました。そこで、この節目に例会の活動についての振り返りと、ICT 活動を牽引してきた方達に各職種の立場から語って頂くことにしました。皆様の施設ではどのような工夫をされているかもお聞きしたいと思います。新年を迎えてお忙しい時と思いますが、多数のご参加を頂きたくご案内申し上げます。

尚、今回の会場は下記の会場に変更になっておりますので、ご留意下さい。

敬具

日時：平成 20 年 1 月 12 日(土) 午後 1 時より

場所：新梅田研修センター



〒553-0003 大阪市福島区福島 6-22-20

Tel:06-6612-7733

Fax:06-6612-7744

テーマ： どうする、どうなる？ ICT活動 (仮)

司会 (小泉、雀部)

【第1部】 13:00～14:10

1 ご挨拶 13:00～13:15 (15分)

コーディネーター 牧本 清子

2 ICT活動について (仮) 13:15～13:45

演者：市立堺病院 藤本 卓司 (30分)

3 トピック 13:45～14:05 (20分)

2007 麻しんの流行－抗体検査とその解釈・予防接種の適応について－

演者：清恵会病院小児科 清水公一

休憩 14:05～14:15

共催企業プレゼン 14:15～14:30

【第2部】 14:30～16:25 (115分)

4 K I P N参加施設の感染管理の現状と今後の課題 14:30～14:45 (15分)

～参加施設へのアンケート調査を実施して～

演者：大阪医療センター 薬剤科 矢倉 裕輝

5 シンポジウム 14:45～15:45

感染管理における各職種の役割と協力

～自施設におけるICT活動と今後の課題～ 各約15分 60分

医師の立場から : 市立豊中病院 清水潤三

看護師の立場から : 箕面市立病院 四宮聡

検査技師の立場から : 近畿大学医学部附属病院 佐藤かおり

薬剤師の立場から : 市立堺病院 安井友佳子

ディスカッション 15:45～16:25

6 次回例会のご案内 16:25～16:30

共催 関西感染予防ネットワーク
塩野義製薬株式会社